古墳・飛鳥時代

☐001 古墳に納められた素焼きの土器を何というか

埴輪

☐002 大仙古墳など多くの古墳で用いられている、代表的な古墳の形状を何というか

前方後円墳

☐003 大仙古墳を含む、世界文化遺産として指定された古墳群は何か

百舌鳥・古市古墳群

☐004 ヤマト王権の支配者の呼び名は何か

大王（おおきみ）

☐005 古墳時代から飛鳥時代にかけて、中国・朝鮮半島から移り住み日本に技術や文化を伝えた人々を何というか

渡来人

☐006 中国の思想家孔子の教えから道徳や政治を学ぶ思想を何というか

儒教

☐007 538年に百済の聖明王より正式に日本に伝来した宗教は何か

仏教

☐008 百済人の王仁により、日本に伝来した文字は何か

漢字

☐009 弥生土器の流れをくむ、古墳時代に作られた土器は何か

土師器（はじき）

☐010 大陸より製法が伝来した、登りがまを用いて焼く土器は何か

須恵器

☐011 大陸より秦氏が伝えたとされる、織物技術は何か

養蚕（絹織物）

☐012 ヤマト王権の豪族を支配した政治制度は何か

氏姓制度

☐013 厩戸皇子（聖徳太子）が推古天皇により任命された役職は何か

摂政

☐014 厩戸皇子（聖徳太子）が中国に送った使者は何か

遣隋使

☐015 中大兄皇子・中臣鎌足らによる政治改革は何か

大化の改新

☐016 土地と人民を禁じ、国のものとする方針を何というか

公地公民

☐017 班田収授法で人民に貸し出される田は何か

口分田

☐018 白村江の戦いで日本が敗れた後に、九州に築いた防衛設備の名前を答えなさい

水城

☐019 白村江の戦いで日本が敗れた後に、九州の防衛のため置いた兵士は何か

防人

☐020 倭の五王が度々使者を送った中国の王朝は何か

宋

☐021 4世紀以降勢力を強め、その指導者が大王（おおきみ）と呼ばれるようになった豪族の所在地はどこか

大和地方（奈良県北部）

☐022 4～7世紀頃、朝鮮半島南西部にありヤマト王権と友好関係にあった国はどこか

百済

☐023 ヤマト王権の影響下にあった朝鮮半島南部の地域はどこか

伽耶（加羅、任那）

☐024 推古天皇が都を置いたのはどこか

飛鳥地方（飛鳥豊浦宮）

☐025 厩戸皇子（聖徳太子）が607年に小野妹子を派遣した国はどこか

隋

☐026 乙巳の変の後、都を移した場所はどこか

難波宮

☐027 618年に隋が滅んだ後に中国を統一した国はどこか

唐

☐028 白村江の戦いで日本が敗れた後に都を移した場所はどこか

近江宮（近江大津宮）

☐029 白村江の戦いの後、朝鮮に統一王朝を作った国はどこか

新羅

☐030 壬申の乱の後に、天武天皇が都を移した場所はどこか

飛鳥宮（飛鳥浄御原宮）

☐031 694年に持統天皇が都を移した場所はどこか

藤原京

☐032 ワカタケル大王の名が刻まれた鉄剣が出土した、埼玉県にある古墳はどこか

稲荷山古墳

☐033 ワカタケル大王の名が刻まれた鉄刀が出土した、熊本県の古墳はどこか

江田船山古墳

☐034 仁徳天皇陵と伝えられる、大阪府にある日本最大級の古墳はどこか

大仙古墳

☐035 白鳳文化を代表する、色鮮やかな女性の壁画が描かれた古墳はどこか

高松塚古墳

☐036 白鳳文化を代表する、天球図や青龍・白虎などの壁画が描かれた古墳はどこか

キトラ古墳

☐037 聖徳太子により建立された、大阪府にある寺院はどこか

四天王寺

☐038 蘇我馬子により建立された、蘇我氏の氏寺はどこか

飛鳥寺（法興寺）

☐039 世界遺産として登録されている、現存する最古の木造建築物でもある寺院は何か

法隆寺

☐040 儒教とは誰の教えをもとにしたものか

孔子

☐041 仏教を開いた人物は誰か

シャカ（釈迦）

☐042 大仙古墳は誰の墓と伝えられているか

仁徳天皇

☐043 5世紀に、朝鮮半島南部の支配権を求め中国に使いを送った5人の王は誰か

讃・珍・済・興・武
（倭の五王）

☐044 稲荷山古墳出土の鉄剣、江田船山古墳出土の鉄刀の両方から名前が確認された王は誰か

ワカタケル大王

☐045 倭の五王の武と同一人物とされる天皇は誰か

雄略天皇

☐046 日本に漢字や儒教を持ち込んだとされる百済人は誰か

王仁

☐047 磐井の乱を鎮圧するなど軍事を得意としたが、蘇我氏によって滅ぼされた仏教反対派の豪族は誰か

物部氏

□048 6世紀末頃より勢力を増した仏教推進派の豪族は誰か

蘇我氏

□049 厩戸皇子（聖徳太子）を摂政に任じた天皇は誰か

推古天皇

□050 厩戸皇子（聖徳太子）と協力して政治を行った豪族は誰か

蘇我馬子

□051 厩戸皇子（聖徳太子）が607年に隋に派遣した人物は誰か

小野妹子

□052 厩戸皇子（聖徳太子)の死後、政治の実権を握った人物は誰か

蘇我蝦夷・入鹿親子

□053 遣隋使として隋に留学し、大化の改新に影響を与えた人物は誰か

南淵請安・高向玄理

□054 645年に蘇我氏を滅ぼし、後に天皇となった人物は誰か

中大兄皇子

□055 645年に蘇我氏を滅ぼし、後に子孫が政権を握った人物は誰か

中臣鎌足

□056 壬申の乱に勝利したのは誰か

大海人皇子（天武天皇）

□057 天武天皇の死後、その跡を継ぎ即位した天皇は誰か

持統天皇

□058 法隆寺を建立したのは誰か

厩戸皇子（聖徳太子）

□059 法隆寺にある釈迦三尊像の作者は誰か

鞍作鳥（止利仏師）

□060 527年に九州で起きた、筑紫国造による反乱は何か

磐井の乱

□061 645年に蘇我蝦夷・入鹿親子が暗殺された事件は何か

乙巳の変

□062 663年に、百済を助けるために日本軍が朝鮮に出兵した戦いは何か

白村江の戦い

□063 天智天皇の死後、672年に皇位継承を巡って起きた争いを何というか答えなさい

壬申の乱

☐064 孔子の教えを記した書物のうち、代表的なものは何か

論語

☐065 倭が百済と同盟し、新羅・高句麗と戦ったという記録を残した史料は何か

好太王（広開土王）碑文

☐066 倭の五王の武＝雄略天皇がワカタケル大王と同一人物という根拠となった中国の歴史書は何か

『宋書』倭国伝

☐067 「一に曰く、和を以て貴しと為し」「二に曰く、篤く三宝を敬え。三宝とは仏法僧なり」と書かれた史料は何か

憲法十七条

☐068 厩戸皇子（聖徳太子）が制定した、役人を登用するための制度は何か

冠位十二階の制

☐069 改新の詔に書かれた、国が人民に田を貸し与え、耕作させ税を納めさせる法は何か

班田収授法

☐070 天智天皇のときに作成された、初の全国的な戸籍は何か

庚午年籍

☐071 天智天皇のときに藤原鎌足が制定したとされる法令は何か

近江令

☐072 天武天皇が制定した法令は何か

飛鳥浄御原令

☐073 天武天皇が制定した、新たな身分制度は何か

八色の姓（やくさのかばね）

☐074 古墳とは何か

王や権力者の墓

☐075 埴輪は主に何をかたどって作られたか

兵士や馬、建物など

☐076 氏姓制度について説明せよ

豪族が氏（うじ）という同族集団をつくり、大王から役職・身分を表す姓（かばね）が与えられた

☐077 摂政とはどのような役職か説明せよ

女性や子どもの天皇に代わり政務を執る役職

☐078 冠位十二階制とはどのような制度か説明せよ

氏姓でなく能力で役人を登用する制度

☐079 法隆寺が単独で世界遺産に指定されている理由を説明せよ

現存する世界最古の木造建築だから

☐080 大化の改新に協力したのはどのような人々か説明せよ

遣隋使・遣唐使から帰国した留学生

☐081 公地公民制について説明せよ

土地と人民の私有を禁じ、天皇のものとする制度

☐082 663年の白村江の戦いに日本が出兵した目的を説明せよ

滅ぼされた百済を助けるため

☐083 飛鳥文化の特徴を答えよ

海外の影響を受けた皇族・豪族中心の仏教文化

☐084 班田収授法について説明せよ

国が人民に口分田を貸し与え、耕作させ税を納めさせるしくみ

☐085 白鳳文化の特徴を答えよ

唐の初期の文化に影響された活力ある華やかな文化

☐086 日本で古墳がつくられた時期はおもに何世紀から何世紀ごろか

3世紀から7世紀ごろ

☐087 仏教が百済の聖明王より正式に伝来したのは何年か

538年

☐088 厩戸皇子（聖徳太子）が摂政となったのは何年か

593年

☐089 官位十二階の制が制定されたのは何年か

603年

☐090 憲法十七条が制定されたのは何年か

604年

☐091 第2回遣隋使として小野妹子が隋に派遣されたのは何年か

607年

☐092 蘇我氏が中大兄皇子・中臣鎌足らに滅ぼされたのは何年か

645年

☐093 白村江の戦いが起きたのは何年か

663年

☐094 壬申の乱が起きたのは何年か

672年

☐095 持統天皇により、藤原京に遷都されたのは何年か

694年

□096 3世紀なかばから7世紀前半にかけて作られた、権力者の墓を何というか

古墳

□097 氏姓制度で最上位の豪族が任ぜられた姓（かばね）は何か

大臣（おおおみ）

□098 前1世紀～7世紀頃朝鮮半島北部を治め、度々日本（倭）と争った国はどこか

高句麗

□099 渡来人によって伝えられた須恵器を焼くための設備は何か

登り窯（のぼりがま）

□100 史上初めて女性で天皇となったのは誰か

推古天皇

□101 史上初めて定められた元号は何か

大化

□102 乙巳の変の後に、天皇中心の改革政治を目指して発表されたものは何か

改新の詔

□103 白村江の戦いで日本が敗れた後に即位し、国防と内政を整えた天皇は誰か

天智天皇

□104 663年に起きた白村江の戦いで日本が戦った相手はどこか

唐・新羅

□105 壬申の乱に敗北した、天智天皇の子は誰か

大友皇子（弘文天皇）

□106 飛鳥浄御原令を制定した天皇は誰か

天武天皇

□107 持統天皇の手により、日本初の計画的都城として建設された都はどこか

藤原京

□108 大仙古墳がある都道府県はどこか

大阪府

□109 稲荷山古墳がある都道府県はどこか

埼玉県

□110 江田船山古墳がある都道府県はどこか

熊本県

□111 ヤマト王権の本拠地がおかれた都道府県はどこか

奈良県

□112 近江宮がある都道府県はどこか

滋賀県

□113 藤原京がある都道府県はどこか

奈良県

□114 日本初の仏教文化の名称を何というか

飛鳥文化

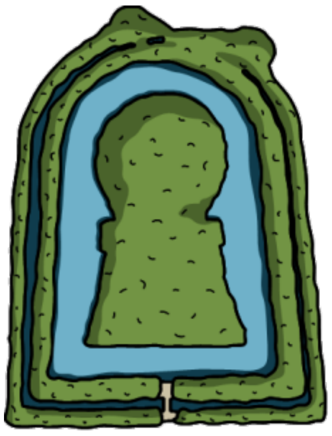
□115 推古天皇即位以降、約100年間を何時代というか

飛鳥時代

□116 天智天皇～持統天皇期の文化を何というか

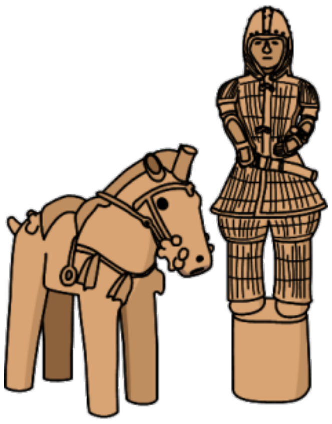
白鳳文化

□117 図のような形状をした建造物・遺跡を何というか



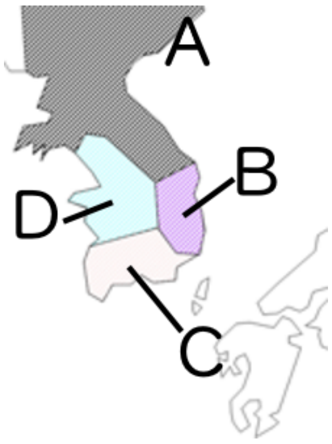
前方後円墳

□118 図のような形状をした出土品の名と、どこから見つかるかを答えよ



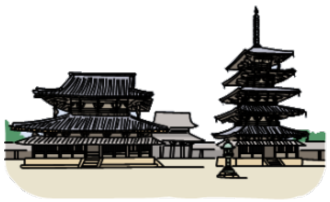
埴輪、古墳から

□119 5世紀頃の朝鮮半島の地図で、A～Dの位置に存在した国家または勢力の名を答えよ



A：高句麗　B：新羅
C：伽耶　D：百済

□120 図の建物の名称を答えよ



法隆寺

☐ 121 図の仏像が所蔵されている寺院と、仏像の名を答えよ

法隆寺、法隆寺釈迦三尊像

☐ 122 図の仏像が所蔵されている寺院と、仏像の名を答えよ

広隆寺、弥勒菩薩半跏思惟像

☐ 123 図の絵画が出土したのはどこか

高松塚古墳

☐ 124 次の出来事を時代が古い順に並べよ
【ア.壬申の乱　イ.憲法十七条制定　ウ.改新の詔　エ.仏教の伝来】

エ→イ→ウ→ア

☐ 125 次の出来事を時代が古い順に並べよ
【ア.聖徳太子の摂政就任　イ.乙巳の変　ウ.藤原京遷都　エ.白村江の戦い】

ア→イ→エ→ウ

☐ 126 次の出来事を時代が古い順に並べよ
【ア.飛鳥文化　イ.ヤマト王権の成立　ウ.白鳳文化　エ.大化の改新】

イ→ア→エ→ウ

☐ 127 次の天皇を時代が古い順に並べよ
【ア.天智天皇　イ.推古天皇　ウ.持統天皇　エ.雄略天皇】

エ→イ→ア→ウ

☐ 128 古墳～飛鳥時代に渡来人が日本に伝えたものとして誤っているものを選べ
【ア.漢字　イ.稲作　ウ.仏教　エ.儒教】

イ.稲作

☐ 129 古墳～飛鳥時代に渡来人が日本に伝えたものとして誤っているものを選べ
【ア.須恵器　イ.養蚕　ウ.鉄器　エ.儒教】

ウ.鉄器

☐ 130 古墳～飛鳥時代に渡来人が日本に伝えたものとして誤っているものを選べ
【ア.平仮名　イ.仏教　ウ.儒教　エ.漢字】

ア.平仮名

古墳・飛鳥時代解答

001	埴輪	古墳に納められた兵士や馬、建物などをかたどった素焼きの土器を埴輪という
002	前方後円墳	大阪府の大仙古墳など、多くの古墳が前方後円墳の形状をとるが、円分や方墳、八角墳、前方後方墳等も存在する
003	百舌鳥・古市古墳群	百舌鳥・古市古墳群には仁徳天皇陵や応神天皇陵など多くの巨大な古墳があり、ユネスコ世界文化遺産に指定された
004	大王（おおきみ）	ヤマト王権の権力者を大王（おおきみ）といい、7世紀後半には天皇と呼ばれるようになった
005	渡来人	中国・朝鮮半島から移り住み日本に技術や文化を伝えた人々を渡来人という
006	儒教	中国の思想家孔子の教えを記した『論語』から、道徳や政治を学ぶ思想を儒教という
007	仏教	538年、百済の聖明王よりインドのシャカの教えである仏教が正式に伝来した
008	漢字	5世紀ごろに百済の博士である王仁が論語とともに漢字を持ち込み、日本に伝来した
009	土師器（はじき）	野焼きで焼かれた土器を土師器といい、古墳時代から平安時代ごろまで作られた
010	須恵器	登りがまを利用し、高温で酸素の少ない環境で焼き上げた土器を須恵器といい、渡来人によって製法が伝えられた
011	養蚕（絹織物）	養蚕技術は渡来人の秦氏により日本に伝えられた
012	氏姓制度	ヤマト王権では豪族たちが氏という集団をつくり、大王から与えられた姓と合わせて役割が決まる氏姓制度がとられた
013	摂政	厩戸皇子（聖徳太子）は女性や子供の天皇を助ける摂政という役職につき、蘇我馬子と協力し推古天皇の治世を支えた
014	遣隋使	607年、聖徳太子は中国全土を200年ぶりに統一した隋に小野妹子を遣隋使として派遣し、対等な外交を開こうとした
015	大化の改新	乙巳の変の翌年の646年に改新の詔が発布され、大化の改新が進められた

016	公地公民	土地と人民の私有を廃し国のものとする方針を公地公民といい、改新の詔に書かれたとされる
017	口分田	戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田を貸し与え、耕作させ納税させる仕組みを班田収授法という
018	水城	白村江の戦いの後、唐や新羅の攻撃に備え九州の大宰府に水城を建設した
019	防人	白村江の戦いの後、唐や新羅の攻撃に備え九州に防人という兵士を配置した
020	宋	倭の五王は、中国南部を支配していた宋に使者をおくり、朝鮮の支配権の認可を求めた
021	大和地方（奈良県北部）	大王（おおきみ）の支配する大和地方（奈良県北部）の勢力のことをヤマト王権という
022	百済	朝鮮半島南西部の百済はヤマト王権と友好関係にあり、たびたび同盟し新羅や高句麗と戦った
023	伽耶（加羅、任那）	朝鮮半島南部の伽耶（加羅・任那）諸国はヤマト王権の影響下にあった
024	飛鳥地方（飛鳥豊浦宮）	推古天皇は飛鳥（奈良県高市郡明日香村）に宮殿を置いたため、藤原京遷都までの約100年間を飛鳥時代とよぶ
025	隋	聖徳太子は中国全土を200年ぶりに統一した隋に小野妹子を遣隋使として派遣し、対等な外交を開こうとした
026	難波宮	乙巳の変の後都は飛鳥から難波（大阪府）へ移され、大化の改新と呼ばれる一連の改革は難波宮で行われた
027	唐	隋が30年程度で滅んだ後にできた唐は300年にわたり中国を支配し、政治・文化・学問が大いに栄えた
028	近江宮（近江大津宮）	白村江の戦いの後、唐や新羅の攻撃に備え、海に近い難波宮から近江大津宮(滋賀県）に都を移した
029	新羅	白村江の戦いの後、668年に新羅が高句麗を滅ぼし朝鮮半島を統一する
030	飛鳥宮（飛鳥浄御原宮）	天武天皇は天智天皇と大友皇子の影響力が強い大津宮を離れ、飛鳥（奈良県）に都を戻し浄御原宮を築いた
031	藤原京	持統天皇は天武の計画を引き継ぎ、天皇の住居だけでなく政治の中心となる計画的都城として藤原京を建設し、694年に遷都した

032	稲荷山古墳	埼玉県の稲荷山古墳から、ワカタケル大王の名を刻んだ鉄剣が出土した
033	江田船山古墳	埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳からは、同じワカタケル大王の名を刻んだ鉄剣が出土した
034	大仙古墳	大阪府の大仙古墳は仁徳天皇陵と伝えられ、日本で最大級の前方後円墳である
035	高松塚古墳	高松塚古墳壁画は、白鳳文化の代表といえる鮮やかな色彩が特徴
036	キトラ古墳	キトラ古墳壁画には北斗七星などの天球や中国の四神が描かれている
037	四天王寺	大阪府にある四天王寺は、物部守屋との戦いの勝利を祈願して聖徳太子が建立した
038	飛鳥寺（法興寺）	蘇我馬子により建立された飛鳥寺は、のちに平城京に移るが、飛鳥には今も鞍作止利による飛鳥大仏が残る
039	法隆寺	法隆寺は厩戸皇子（聖徳太子）によって建立され、現存する最古の木造建築物として世界遺産にも登録されている
040	孔子	中国の思想家孔子の教えを記した『論語』から、道徳や政治を学ぶ思想を儒教という
041	シャカ（釈迦）	538年、百済の聖明王よりインドのシャカの教えである仏教が正式に伝来した
042	仁徳天皇	大阪府の大仙古墳は仁徳天皇陵と伝えられ、日本で最大級の前方後円墳である
043	讃・珍・済・興・武（倭の五王）	ヤマト王権の倭の五王（讃・珍・済・興・武）が朝鮮半島南部の支配権を求め中国に使いを送った
044	ワカタケル大王	埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳からは、同じワカタケル大王の名を刻んだ鉄剣が出土した
045	雄略天皇	稲荷山古墳出土の鉄剣に刻まれたワカタケル大王は、倭王武＝雄略天皇と同一人物と推定される
046	王仁	5世紀ごろに百済の博士である王仁が論語とともに漢字を持ち込み、日本に伝来した
047	物部氏	物部氏は仏教反対派で、物部守屋が蘇我馬子に滅ぼされた

048	蘇我氏	6世紀末～7世紀半ばには仏教推進派の蘇我氏が大きな権力を持った
049	推古天皇	592年に即位した推古天皇は史上初の女性天皇で、おいの聖徳太子を摂政にして蘇我氏と協力し政治を執った
050	蘇我馬子	厩戸皇子（聖徳太子）は蘇我馬子と協力し政治を行った
051	小野妹子	607年、聖徳太子は中国全土を200年ぶりに統一した隋に小野妹子を遣隋使として派遣し、対等な外交を開こうとした
052	蘇我蝦夷・入鹿親子	厩戸皇子（聖徳太子)死後、蘇我馬子の子である蘇我蝦夷と、その子の蘇我入鹿が政権を握り天皇をないがしろにした
053	南淵請安・高向玄理	南淵請安、高向玄理らは遣隋使として隋に留学し、その知識は大化の改新に影響を与えた
054	中大兄皇子	中大兄皇子は蘇我氏を滅ぼした後に大化の改新を進め、668年には天智天皇として即位した
055	中臣鎌足	中臣鎌足は中大兄皇子に協力し「藤原」の名字を賜り、後の藤原氏の祖となった
056	大海人皇子（天武天皇）	672年に天智天皇の弟の大海人皇子と、天智天皇の子の大友皇子の間で起こった継承争いを壬申の乱という
057	持統天皇	天武天皇の死後、その皇后が持統天皇として即位し、藤原京や飛鳥浄御原令などの政策を引き継いだ
058	厩戸皇子（聖徳太子）	法隆寺は厩戸皇子（聖徳太子）によって建立され、現存する最古の木造建築物として世界遺産にも登録されている
059	鞍作鳥（止利仏師）	法隆寺釈迦三尊像や飛鳥大仏は鞍作鳥（止利仏師）の作品
060	磐井の乱	527年に九州ではヤマト王権に従わない磐井による反乱が起き、軍事を得意とする豪族の物部氏に鎮圧され
061	乙巳の変	645年に蘇我氏を滅ぼした事件を乙巳の変といい、その翌年からの政治改革を合わせて大化の改新という
062	白村江の戦い	663年に百済を助けるために朝鮮に出兵し、唐と新羅の連合軍に敗れた戦いを白村江の戦いという
063	壬申の乱	672年に天智天皇の弟の大海人皇子と、天智天皇の子の大友皇子の間で起こった継承争いを壬申の乱という

064	論語	中国の思想家孔子の教えを記した『論語』から、道徳や政治を学ぶ思想を儒教という
065	好太王（広開土王）碑文	高句麗の好太王（広開土王）碑には倭が百済と同盟し、新羅・高句麗と戦ったと記されている
066	『宋書』倭国伝	『宋書』倭国伝の記述より、倭王武＝雄略天皇＝ワカタケル大王が推定された
067	憲法十七条	厩戸皇子（聖徳太子）は604年に政治の理想や役人の心構えを記した憲法十七条を制定した
068	冠位十二階の制	豪族としてのうまれや世襲でなく、能力のある人間を役職につけるため冠位十二階の制を厩戸皇子（聖徳太子）が制定した
069	班田収授法	国が人民に口分田を貸し与え、耕作させ税を納めさせるしくみを班田収授法という
070	庚午年籍	天智天皇の治世に庚午年籍という戸籍が作成され、全国に班田収授法を実施する基盤となった
071	近江令	天智天皇の治世に近江令という日本初の律令が制定されたとされるが、現存はしていない
072	飛鳥浄御原令	天武天皇は律令の制定をはかったが、作成者の草壁皇子の急死で令（行政法）部分だけが飛鳥浄御原令として発布された
073	八色の姓（やくさのかばね）	天武天皇により制定された八色の姓で、氏姓制度が改革され天皇家に近いものがより上位となった
074	王や権力者の墓	3世紀なかばごろから7世紀ごろまで、西日本を中心に各地の王や豪族の墓として古墳がつくられた
075	兵士や馬、建物など	古墳に埋葬された埴輪は、王の生前の権力を表すもの、あるいはいけにえの代わりとの見方がある
076	豪族が氏（うじ）という同族集団をつくり、大王から役職・身分を表す姓（かばね）が与えられた	
077	女性や子どもの天皇に代わり政務を執る役職	女性や子供の天皇に代わり政務を執る摂政に最初に就いたのは厩戸皇子（聖徳太子）
078	氏姓でなく能力で役人を登用する制度	豪族としてのうまれや世襲でなく、能力のある人間を役職につけるため冠位十二階の制を厩戸皇子（聖徳太子）が制定した
079	現存する世界最古の木造建築だから	法隆寺は厩戸皇子（聖徳太子）によって建立され、現存する最古の木造建築物として世界遺産にも登録されている

080	遣隋使・遣唐使から帰国した留学生	遣隋使・遣唐使で中国に留学し学問を修め、帰国した留学生や僧らが大化の改新に協力した
081	土地と人民の私有を禁じ、天皇のものとする制度	土地と人民の私有を廃し国のものとする方針を公地公民といい、改新の詔に書かれたとされる
082	滅ぼされた百済を助けるため	663年に百済を助けるために朝鮮に出兵し、唐と新羅の連合軍に敗れた戦いを白村江の戦いという
083	海外の影響を受けた皇族・豪族中心の仏教文化	飛鳥文化は推古天皇期に栄えた皇族・豪族中心の仏教文化で、中国やインド・ペルシャ・ギリシャの影響も見られる
084	国が人民に口分田を貸し与え、耕作させ税を納めさせるしくみ	戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田を貸し与え、耕作させ納税させる仕組みを班田収授法という
085	唐の初期の文化に影響された活力ある華やかな文化	天智天皇～持統天皇期の文化を白鳳文化といい、高松塚古墳壁画に代表される華やかな活力が特徴である
086	3世紀から7世紀ごろ	3世紀なかばごろから7世紀ごろまで、西日本を中心に各地の王や豪族の墓として古墳がつくられた
087	538年	538年、百済の聖明王よりインドのシャカの教えである仏教が正式に伝来した
088	593年	593年、推古天皇は厩戸皇子（聖徳太子）を摂政に任命した
089	603年	603年、摂政の厩戸皇子（聖徳太子）と蘇我馬子が協力して冠位十二階を制定した
090	604年	604年、厩戸皇子（聖徳太子）は政治の理想や役人の心構えを記した憲法十七条を制定した
091	607年	607年、聖徳太子は中国全土を200年ぶりに統一した隋に小野妹子を遣隋使として派遣し、対等な外交を開こうとした
092	645年	645年に蘇我氏を滅ぼした事件を乙巳の変といい、その翌年からの政治改革を合わせて大化の改新という
093	663年	663年に百済を助けるために朝鮮に出兵し、唐と新羅の連合軍に敗れた戦いを白村江の戦いという
094	672年	672年に天智天皇の弟の大海人皇子と、天智天皇の子の大友皇子の間で起こった継承争いを壬申の乱という
095	694年	持統天皇は天武の計画を引き継ぎ、天皇の住居だけでなく政治の中心となる計画的都城として藤原京を建設し、694年に遷都した

096	古墳	3世紀なかばごろから7世紀ごろまで、西日本を中心に各地の王や豪族の墓として古墳がつくられた
097	大臣（おおおみ）	姓のうち、大王と祖先を同じくする氏族に与えられるのが臣で、その最上位として蘇我氏らに大臣の姓が与えられた
098	高句麗	朝鮮半島北部の高句麗は日本（倭）と敵対し、戦った記録が広開土王碑文に残されている
099	登り窯（のぼりがま）	斜面に穴を掘った登り窯で焼く、薄くて堅い須恵器の技術が渡来人によって伝えられた
100	推古天皇	592年に即位した推古天皇は史上初の女性天皇で、おいの聖徳太子を摂政にして蘇我氏と協力し政治を執った
101	大化	乙巳の変（645年）で皇極天皇が退位し孝徳天皇が即位した際に元号「大化」が定められたのが元号の初出
102	改新の詔	乙巳の変の翌年の646年に改新の詔が発布され、大化の改新が進められた
103	天智天皇	長年皇太子のまま政治を執っていた中大兄皇子は、668年に天智天皇として即位する
104	唐・新羅	663年に百済を助けるために朝鮮に出兵し、唐と新羅の連合軍に敗れた戦いを白村江の戦いという
105	大友皇子（弘文天皇）	672年に天智天皇の弟の大海人皇子と、天智天皇の子の大友皇子の間で起こった継承争いを壬申の乱という
106	天武天皇	天武天皇は律令の制定をはかったが、作成者の草壁皇子の急死で令（行政法）部分だけが飛鳥浄御原令として発布された
107	藤原京	持統天皇は天武の計画を引き継ぎ、天皇の住居だけでなく政治の中心となる計画的都城として藤原京を建設し、694年に遷都した
108	大阪府	大阪府の大仙古墳は仁徳天皇陵と伝えられ、日本で最大級の前方後円墳である
109	埼玉県	埼玉県の稲荷山古墳から、ワカタケル大王の名を刻んだ鉄剣が出土した
110	熊本県	埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳からは、同じワカタケル大王の名を刻んだ鉄剣が出土した
111	奈良県	大王（おおきみ）の支配する大和地方（奈良県北部）の勢力のことをヤマト王権という

112	滋賀県	白村江の戦いの後、唐や新羅の攻撃に備え、海に近い難波宮から近江大津宮(滋賀県）に都を移した
113	奈良県	藤原京は飛鳥京の北西、奈良県橿原市に建設されたが、完成を待たずして放棄された
114	飛鳥文化	飛鳥文化は推古天皇期に栄えた皇族・豪族中心の仏教文化で、中国やインド・ペルシャ・ギリシャの影響も見られる
115	飛鳥時代	推古天皇は飛鳥（奈良県高市郡明日香村）に宮殿を置いたため、藤原京遷都までの約100年間を飛鳥時代とよぶ
116	白鳳文化	天智天皇～持統天皇期の、唐の初期の文化に影響された活力のある華やかな文化を白鳳文化という
117	前方後円墳	大阪府の大仙古墳など、多くの古墳が前方後円墳の形状をとる
118	埴輪、古墳から	古墳に納められた兵士や馬、建物などをかたどった素焼きの土器を埴輪という
119	A：高句麗　B：新羅 C：伽耶　D：百済	Cの伽耶諸国は加羅、任那日本府とも 7世紀には新羅によって統一される
120	法隆寺	法隆寺は厩戸皇子（聖徳太子）によって建立され、現存する最古の木造建築物として世界遺産にも登録されている
121	法隆寺、法隆寺釈迦三尊像	法隆寺釈迦三尊像は、鞍作鳥（止利仏師）による作で、国宝に指定されている
122	広隆寺、弥勒菩薩半跏思惟像	広隆寺の弥勒菩薩半跏思惟像は、彫刻による国宝の第一号で、朝鮮にも同じ形式の仏像がある
123	高松塚古墳	高松塚古墳壁画は白鳳文化の代表といえる鮮やかな色彩が特徴
124	エ→イ→ウ→ア	エ（538年）→イ（604年）→ウ（646年）→ア（672年）
125	ア→イ→エ→ウ	ア（593年）→イ（645年）→エ（663年）→ウ（694年）
126	イ→ア→エ→ウ	イ（4～5世紀）→ア（7世紀前半・推古天皇期）→エ（7世紀中頃）→ウ（7世紀後半・天武天皇期）
127	エ→イ→ア→ウ	エ（5世紀末）→イ（592年）→ア（668年）→ウ（690年）

128	イ.稲作	稲作の伝来は弥生時代のこと
129	ウ.鉄器	鉄器の伝来は弥生時代のこと
130	ア.平仮名	平仮名は平安時代に日本で開発される